

**EDF**The Education for Development Foundation  
มูลนิธิเพื่อการพัฒนาที่ยั่งยืนEDF WAS AWARDED  
"NGO OF THE YEAR 2012"

# ダルニーフォーラム

第三十二号

2019年11月

www.edfthai.org/jp

## 学生に対するプレゼント・キャンペーンのご案内 毎日通学するための新しいカバンと弁当箱がほしい奨学生の実話



ビニール袋に入っているご飯と教科書の古い布カバン

EDF奨学生のタナユット・ペンディーくん(ニックネームはコーン)は14歳で、アムナートチャルーン県にあるバーンファイトム中学校の2年生です。

5人兄弟の3番目、祖父母と暮らしています。両親は離婚しました。母親は再婚し、義父と一緒にタイ東部のチョンブリ県に出稼ぎに行き建設の仕事をしています。たまにしか帰省しません。

母親は毎月、食費、光熱費、子供5人分の学用品の支出のために仕送りをします。特に新学期(タイでは1学期は5月、2学期は11月に開始)は、子供5人分の毎月の出費に加えて、母親はカバン、靴、制服などを購入するお金が必要です。それまで使っていた物は使い古され、擦り切れて通学には使えないからです。これらの物を購入するため、給料の前借りをしたり、知り合いからお金を借りる事もあります。

コーンくんが現在使っているカバンは古くなり擦り切れています。このカバンに教科書、ノート、学用品、昼食の弁当を入れます。新しいカバンを買うお金はないので、古いカバンと学校で食べる昼食を入れたビニール袋を持ち歩きます。

家から学校までは2キロあります。教科書が何冊にもなり、学用品や昼食も同じカバンに入れる日もあります。弁当箱代わりにビニール袋がきちんと閉じられているか、学校への通学途中で何度も確認します。注意していないと、ご飯がカバンの中に散乱するからです。

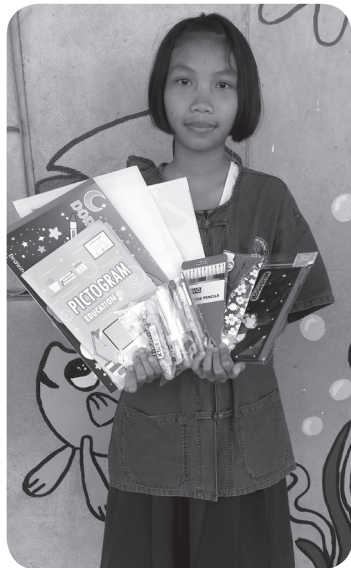
バーンファイトム中学校の奨学金担当のパッチャラー・オーンアット先生の話

「政府から中学生1人につき年450バーツの支援があります。制服、カバン、靴などの学用品の購入のためですが、この額では金額の一部を支援する程度です。保護者が自己負担しなければならない学用品費はもっとあります。更には学用品が値上がりし、安くて品質の良い物を購入すると壊れやすく、毎年買い換える必要があります。」

EDFは教育支援プレゼントプロジェクトを**2020年1月10日まで**実施します。このようにしてプレゼントを受け取った生徒たちは、学校生活においてさまざまに役立てて使います。その上、プレゼントを貰うということは彼らにやる気を起こさせ、よりよい将来のためにも卒業するまで頑張ろうという目標を持たせます。EDFは、皆々さまからのご支援を切に願っております。

# プレゼントキャンペーンのご案内 「一生の思い出の品にします。どうもありがとうございました」

2018年に実施させていただきましたプレゼントキャンペーンはたくさんの方々からご協力いただきました。多くの学生にとっては生まれてはじめてクリスマス・お正月のプレゼントを手にして大変嬉しい大きな出来事となりました。今回はその喜びとお礼のメッセージの一部を皆様にお伝えします。



## ワンニサーさん、カオサガー ジャラーンウイット校、サコ ンナコン県

このたび、あなた様が贈って下さったプレゼントを受け取りました。奨学金に加え、文房具のセット、ノート、ペン、鉛筆、定規、ファイルなど。私にとって大変ありがたい、役立つ品々ばかりです。頂いた学用品は大切に使用して、最後まで使い切ります。そして使い切ったら思い出の品として一生取っておき、当時学用品を沢山頂いたことを思い出します。一生の思い出の品にします。



## ワンチャナさん、バーンペンブवाई校、ブリラム県

お送りいただいたプレゼントのセットに対し、厚くお礼申し上げます。カバンやお弁当箱などのいろいろな品物は、学校の生活に必要なものばかりで大変ありがたいです。いただいたプレゼントの品々は、毎日大事に使って役立て、大切にします。今回贈り物を戴いたことについて、私はうれしく感じ、あなた様の慈しみの心に感激しました。



## ニヤダーさん、ワーノンニワ ート校、サコンナコン県

自分の自転車を持つことができるなんて思いもしませんでした。私の家は学校から2キロ離れており、早朝毎日歩いて通学しています。優しい支援者から自転車をいただいから生活は変わりました。朝早く慌てて朝食をとる必要がなくなり、楽に通学できるようになります。また、農作業の手伝いに行くためにも自転車を使います。自転車に乗るときに自分の両足で前向きにどこへでも自由に動けるその気持ちが大好きですから、こんな素敵なものを買って下さったことに心から感謝しています。



今年のはじめてプレゼントセットの一品として「学校用靴」を付け加えます。タイの国立学校では制服によって靴が変わります。最低1人に2足(通常の学校制服用とス

ポーツ服用)が必要となります。地方の市場で売っているものですが、普通に履けて高級なものではない場合は1足350-400バーツとなっています。スポーツ用の靴はもっと高くなります。



年末年始のような祝祭シーズンがまた近づいてきましたが、恵まれないタイの子どもたちにとって大切で意義深いプレゼントを新年のお祝いとして贈ってみてはいかがでしょうか。ご興味のある方は、今回同封した注文書をご利用いただき、お申込みください。よろしく願い致します。